

# 地域みらい図ワークショップ

—地域の未来をみんなの手で—

～鎌倉市玉縄地区レポート～



実施日程：令和7年（2025年）6月29日（日） 場所：たまなわ交流センター 参加者：17名

## 主催

鎌倉市・鎌倉市社会福祉協議会



## ワークショップのねらい

地域には、子育て、高齢者の見守り、障害のある子どもや大人のサポート、移動の不便さ、近所づきあいの変化、地域行事の継承など、さまざまなニーズがあります。こうした「くらしの課題」は、市だけで解決するのではなく、住民同士の支え合いや公的な制度・支援とも連携しながら、地域全体で取り組んでいくことが大切です。

そこでワークショップでは、いろいろな立場の人が「この地区で、これからどんなふうに住らしたいか」から出発し、数年後のまちの様子を具体的に描きました。住民の関わり方の選択肢が広がり、役割を無理なく分かち合える地域づくりにつながることを、ねらいとしました。

地域の見守りや行事の運営は、一部の人の役割が集中しやすく、「このままだと続けるのが大変」という声もあり、地域の課題として「担い手不足」が語られがちです。

一方で、「担い手不足」を強く打ち出すと、地域への参加が責任や負担を伴うものとして受け止められ、新しく関わる人にとってハードルが高くなることがあります。

そのため今回は、役割の話から入るのではなく、地域で大切にしたい暮らしのイメージや、一人ひとりの思いを語り合うことを大切にしました。

## 実施内容

当日は、次の2つのステップで進めました。

- ・「いま」と「これから」の意見交換（困りごと・大事にしたいことの共有）
- ・地域みらい図づくり（架空の地図に、玉縄地区のどこかをイメージしながら、場所・人の動き・そこで交わされる会話・うまれる関わりなどを、イラストや文字で描いてみる）

地域の課題は抽象的なことも多いため、いまの暮らしを出発点に、数年後の地域で見たい景色や場面を描くことで、「どんな地域を目指したいか」「そのために何が大切か」を、共有しました。



## 玉縄地区で描く「未来の風景」（地域みらい図より）



※紙面の都合で、地域みらい図は代表例のみ掲載しています。どのグループからも大切な意見をいただきました。いただいた内容は別途取りまとめ、今後の検討に活かしていきます。

## 玉縄地区で描く「未来の風景」(地域みらい図より)

### ○未来の風景①：災害時にも助け合える、顔の見えるつながりがある

- ・地域をいくつかの身近な単位で支え合い、いざという時に声をかけ合える関係を日ごろから育てる。
- ・子どもも大人も一緒に防災を学び、体験しながら、世代を超えて備える力を高める。
- ・ふだんの交流が、災害時の安心や助け合いにつながる。



### ○未来の風景②：誰もが安心して歩ける道が、地域のつながりを支える

- ・足腰に不安のある高齢者や、車いす、子どもも含め、誰もが安心して歩ける道がある。
- ・地域の緑道が、スーパーや公園などの身近な場所を結び、日常の移動を支える。
- ・そうした道があることで、散歩する人、買い物に行く人、走る人など、さまざまな人が地域の中で自然に交わる。



### ○未来の風景③：まちのあちこちで、世代を超えて自然に関われる場がある

- ・世代ごとに分かれるのではなく、同じ場所で自然に顔を合わせ、ゆるやかにつながれる。
- ・地域の困りごとを自分たちのこととして受け止め、無理のない関わりの中で支え合える。
- ・まち全体が、安心して暮らし続けるためのつながりのネットワークとして機能する。



## 玉縄地区の様子

問 地域福祉の活動を促進するために必要なことは何だと思えますか。(○は5つまで)

区分	回答者数	参加できるような内容の活動	一人でも気軽に	定間参加しやすい施設	仕事・学校・家庭と両立できるような内容の活動	自分の特技やスキルを活かすやす	地域住民と気軽な交流すること	活動場所を使いやすくする	新情報に発信する	公式SNSで最も	チラシやパンフレットを配布し、情報提供する
全体	1,521人	47.8%	40.7%	34.3%	16.4%	27.4%	18.5%	20.4%	20.4%		
玉縄地区	198人	44.4%	46.5%	33.8%	12.1%	22.2%	15.7%	17.2%	17.7%		

資料：鎌倉市の地域福祉に関するアンケート調査（アンケート調査より一部抜粋）

## メッセージ

### 【市】

ワークショップやアンケートで見えてきたことをもとに、地域で安心して暮らし続けられるまちづくりに活かしていきます。これからも地区ごとに対話の場を続けます。一人でも、途中からでも、話すのが得意でなくても大丈夫です。ぜひ、気軽にご参加ください。

### 【鎌倉市社会福祉協議会】

市社協は、地区の活動や身近な相談の場に日常的に関わっています。住民の皆さんのアイデアが無理なく地域住民の主体的な取組につながるよう、地区社協や地域のみなさまとともに進めていきます。

### 【川上富雄先生（鎌倉市や市社協の計画づくりに長く関わってきた大学教授）】

地域づくりに、正解は一つではありません。だからこそ、いろいろな立場の声を集め、未来の暮らしを具体的に描くことに意味があります。こうした話し合いが、これからの地域づくりにつながることを期待しています。

### 【連絡先】

鎌倉市健康福祉部福祉政策課 地域福祉担当

社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会

〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10

〒248-0012 鎌倉市御成町 20-21

T E L 0467-23-3000 (代表)

T E L 0467-23-1075

